

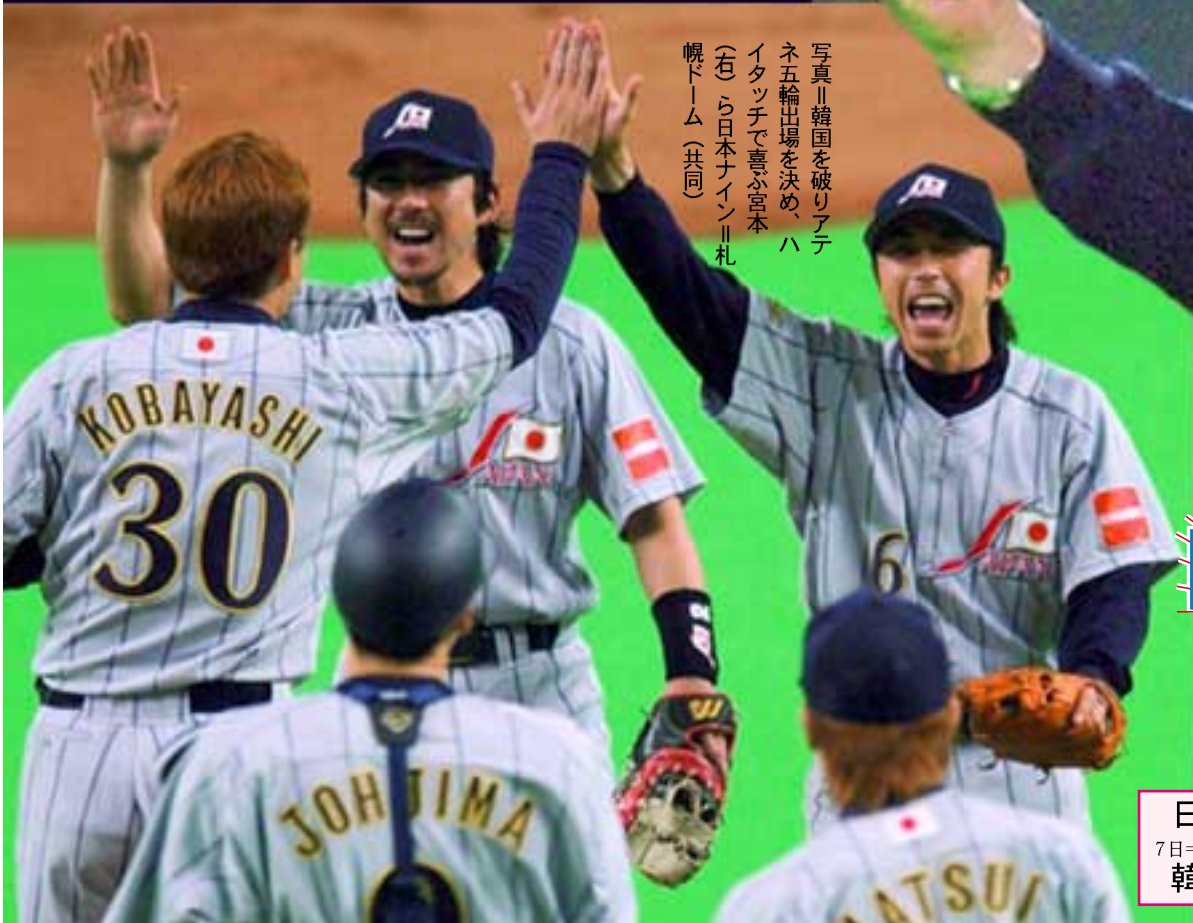
アテネ決めた長嶋

ジャパン

長嶋ジャパンが、アジアNO・1の座でアテネ行きのキップをつかんだ。13失点以内の負けでも五輪出場権を獲得できる韓国戦も、先発したダイエー和田以下の継投策がピタリとはまり、韓国打線を完封。打ってはキャプテン

のヤクルト宮本、今大会絶好調の中日福留がタイムリー。2-0で韓国を下し3戦全勝の1位で6大会連続の五輪キップをつかんだ。なお大会MVPには日本のキャプテン宮本慎也(33=ヤクルト)が選ばれた。

写真＝韓国を破りアテネ五輪出場を決め、ハイトタッチで喜ぶ宮本(右)ら日本ナイン＝札幌ドーム(共同)



日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

11月7日 金曜日
2003年(平成15年)
PM11:30

日本	0	0	1	0	0	1	0	0	0	=2
7日=札幌ドーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=0

写真＝韓国を下してアテネ五輪出場を決め、ガッツポーズでナインを迎える長嶋監督＝札幌ドーム(共同)